

平成 30 年度 事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会

基本方針

今年度は、新たな介護保険制度の見直しが実施され、地域包括ケアシステムや介護予防・日常生活支援総合事業の具体的なサービスの開始等地域に根ざした福祉活動が今後重要になってきます。

施設運営においても、夜勤職員配置加算等新たな加算の取得等目指して出来るものは、4月から開始し順次対応できるものを追加して行きます。又稼働率も今後より一層意識して将来を見据え安定した運営の基盤作りが重要課題と考えます。

介護保険の環境も厳しくなり在宅系の訪問介護、デイサービス等の事業の統廃合が起きていますので、特徴ある地域に根差したサービスの向上を目指し新たな加算等も視野に入れて行きます。

介護職員につきましては、離職者が減りましたが、接遇や言葉使い等においてまだまだ出来ていない状況ですので、研修や会議等で取り組み強化していきたいです。

現場では、全体的な介助時間の見直しや組織の再構築も行い、いままでのやり方を見直し、この状態が当たり前になっていないか？職員一丸となって変革に取り組んでいきたいと思えます。

人材に関しては、ある程度落ち着いていますが、流動的な退職者も出てきますので、人材紹介会社や広告媒体等の活用はもとより、地元地域の人材確保のため自治会連合会へ協力をいただき地域とともに施設運営ができるよう推進していきたいです。

今年度も各事業において引続きスローガンを掲げ、職員が一丸となり業務に邁進する姿勢を高めサービス向上に努めると共に、中期3カ年計画の新たな取り組みと課題に向け事業推進を推し進めていきたいと思えます。

職員が前向きに仕事ができる環境をより強く提供できるよう努めるとともに、総合的な自立支援ケアができる施設に躍進していきたいと思えます。

処遇改善では、職員のキャリア形成を明確にし今後も魅力ある職場作りに改善注力していき、職員の介護技術、介護知識の向上を目指しより質の高い職員の育成を目指していきます。

そのため職員がやめない職場づくりのさらなる強化としての人材教育等も積

極的に推進していきたいと思ひます。

地域社会貢献をより強固にし、配食サービスの更なる協力や西谷地域に於いては、地域包括ケアを念頭に置き、地域包括支援センターを中心として、高齢者が住み慣れた地域で本人や家族が安心して生活を続ける為に地域福祉の拠点施設として今後共、更なる向上を目指していきたいと考えています。

課題

1. 社会福祉法人としての社会貢献

- ・地域高齢化福祉への取組として西谷地域包括支援センターを基盤に活動を拡大
- ・配食サービスの運営

2. 利用者様の主体性・選択性の充実

- ・ケアカンファレンスの充実
- ・総合的な自立ケアの取組

3. 施設稼働率の安定と経費等支出の削減で効率の良い施設運営

- ・加算の取得の取組強化
- ・支出見直しによる経費削減
- ・全職員が意識した節約の取組実施

4. 職員のスキルアップへの取組

- ・今までのやり方「この状態が当たり前になっていないか」を各自が意識し「できない理由」でなく「どうすればできるのか」を考える力を備える。
- ・計画的な研修体制の確立（医療・接遇・認知症・各種専門分野等）
- ・キャリアパスの確立による人事考課の強化と職員レベルの技術・知識の向上
- ・職員がやめない職場づくりの推進強化

平成 30 年度事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会

特別養護老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ

短期入所生活介護 宝塚シニアコミュニティ

基本方針

平成 30 年の念頭方針～変革～を基に、業務の改善、教育体制の見直しを積極的に取り組んでいく。

業務改善については、人員配置と入浴業務の見直しを行い、日々の業務の中で、職員が心にゆとりを持って、利用者様のニーズに応じた介護、対応出来る様にして行きたい。また、業務改善する事で時間にゆとりを持つ事ができ、利用者様の余暇時間の充実を図り、外出行事・レクリエーション等を定期的に行い、楽しみある生活を過ごして頂く事を目標に実施していく。

教育体制については、職員一人一人が施設から何を求められているかという事明確にし、指導者としての能力向上、介護職としての介護技術の向上を目指し、外部研修や施設内研修を取り入れ、学んだ事を施設間で共有する為、研修のフィードバックが出来る体制を取り入れていく。今年度も引き続きスローガン『気努相楽』を周知徹底し、職員の意識を高め取り組んでいきたい。

課題

1、業務改善

日常業務の中で現在、入浴業務に時間をとられている。

入浴業務に関わる職員の配置を見直し、入浴業務が時間通りに終了できる体制を作る。また、入浴日以外の日利用者様が楽しみある生活を過ごして頂く余暇時間を作る。(外出行事、レクリエーション等)

2、経費削減

時間外業務の削減

人員も増えてきたので適切な人員配置を行い、業務を効率よく行える体制を作る。(送迎者の教育、SS荷物チェック方法、入浴体制等)

3、教育体制

指導者としての能力向上、介護職としての介護技術向上

接遇内容の見直しと改善

研修体制の見直し、改善

マニュアルの見直し、改善を行い、統一した指導を行える体制を築いていく。

数値目標：特別養護老人ホーム

① 稼働率→95%

数値目標：短期入所生活介護

① 稼働率→108%

スローガン

「気 努 相 楽」

気：気づき、考える。

努：目標に向かって努力。レベルアップに努力。

相：相手を思いやる心。報連相の心。

楽：楽しむ生活、楽しく仕事。

特養・短期入所 中長期計画表(平成28年度～平成30年度) 案

- ・中長期的な計画として業務改善と人材育成(教育体制)に取り組みたい。業務体制については入浴業務に時間をとられている為、問題点、改善点の抽出を行い、体制の整備を実施する。業務の体制を見直すことにより、ゆとりのある介護、利用者様の余暇の充実に
- ・指導者としての能力向上、介護職としての介護技術向上の為、研修体制の見直し、改善に取り組む。
- ・マニュアル見直し、改善して統一した指導、ケアを行う。

平成28年度	平成29年度	平成30年度
1業務改善	・業務改善	・業務改善
2人材育成	・人材育成	・人材育成(教育体制)
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し(設備面) ・問題点、改善項目の抽出 ・優先すべき項目の選定 ・一次整備を開始 ・職員のレベル確認 ・介護技術の向上 ・新人教育マニュアルの作成 	問題点、改善点の抽出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の見直しを見据えた更なる体制の整備を実施する ・内部の定期的な研修、外部研修の参加 ・職員のレベル確認 ・新人教育マニュアルの体制に整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴業務の見直し ・指導者の能力向上 ・介護職としての介護技術向上 ・業務体制のマニュアル改善⇒統一したケ ・研修体制の見直し、改善
数値目標(年間稼働率)	数値目標(年間稼働率)	数値目標(年間稼働率)
<ul style="list-style-type: none"> ・特養 96% ・短期入所 96% 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養 96% ・短期入所 96% 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養 96% ・短期入所 96%

特養・短期入所 30年度年間研修計画(案)

- ・研修に関しては医務室の医療研修とも連携し積極的に施設内研修を行う。事例検討会も合わせて行う。
- ・新人研修
- ・医療研修 年3回
- ・口腔ケア研修 月1回
- 事例検討会議 随時

1、年間行事計画

	行事	クラブ活動	その他
4月	お花見	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
5月	遠足	リハビリ体操・口腔体操・	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
6月	運動会 お茶会	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
7月	七夕会 西谷ふるさと祭り	リハビリ体操・口腔体操・	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
8月	夏まつり	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
9月	敬老祝賀会	リハビリ体操・口腔体操・	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
10月	芋掘り	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
11月	紅葉狩り 鍋を囲む会	リハビリ体操・口腔体操・	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
12月	クリスマス会 餅つき	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
1月	新年祝賀会 初詣	リハビリ体操・口腔体操・	誕生会・喫茶・買物 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
2月	節分 バイキング	リハビリ体操・口腔体操・ちぎり絵クラブ	誕生会・喫茶・買物・ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会
3月	ひな祭り	リハビリ体操・口腔体操	誕生会・喫茶・買物・ドライブ 外食ツアー・ボランティア催し物 お楽しみ会

2、年間会議、研修計画

	施設内会議・研修	施設外会議・研修
4月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・新人職員研修・全体研修・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
5月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
6月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・医療研修・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 兵庫県社会福祉協議会老人福祉施設新人職員研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
7月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
8月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
9月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・口腔ケア研修・SS 会議	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 兵庫県職業能力開発協会中堅社員研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修

10月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・新人職員研修・全体研修 口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 兵庫県職業能力開発協会リーダー研修 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
11月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議・SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
12月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・SS 会議・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
1月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 看介護部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
2月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 SS 会議・口腔ケア研修	宝塚市介護保険事業者協会施設連絡会 相談員部会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修
3月	部門間調整会議・各委員会・リーダー会議 フロアワーカー会議・ナース会議・看介護合同会議 医療研修・SS 会議・口腔ケア研修	兵庫県老人福祉事業協会阪神ブロック直接処遇職員部会総会 県立リハビリセンターテーマ研修 各分野施設外研修

3、日課表

時間	利用者	看護・介護職員
4時 45分		巡回 排泄介助 交替仮眠終了(4:45迄)
5時		排泄介助・体交
6時	起床	VS測定 点眼 配茶回収 PWC 清掃 離床 トイレ誘導 食堂へ誘導
7時		離床 モーニングケア 食堂へ誘導
8時 30分	朝食	朝食介助 口腔ケア 着床
9時 30分	入浴	朝礼・申し送り 排泄介助 離床 通院介助 入浴介助 一般浴(月・木)特浴(火・金) ショート(水・土)
10時	レク・クラブ活動	入浴介助 水分補給 環境整備 点眼 VS測定
11時		入浴介助(11:45迄) 内服薬準備
12時	昼食	昼食介助 口腔ケア
13時 30分	入浴	着床 回診介助(水) 排泄介助 入浴介助 特浴(月・木)一般浴(火・土) ショート(水・土)
14時		VS測定 離床 環境整備 入浴介助(15:00迄)
15時	おやつ・レク	間食介助 水分補給 軟膏塗布 ケース記録 PC 入力
16時 30分		看護・外科処置 点眼 申し送り 排泄介助
17時 30分		
18時	夕食	夕食介助 歯磨き介助 義歯預かり洗浄消毒
19時		着床 居室へ誘導 排泄介助
20時	入眠準備	眠前薬服薬確認
21時		VS測定
22時	消灯	巡回開始 排泄介助

23時 15分		巡回 交替仮眠開始
24時15 分		巡回
1時15分		巡回・体交
1時45分 2時15分		巡回 排泄介助
2時15分		交代仮眠
3時15分		巡回・体交
4時15分		巡回

4、週間業務

	AM	PM	適宜
月	入浴 理学療法士指導(隔週) 口腔体操	入浴 リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
火	入浴 歯科衛生士口腔ケア 口腔体操	入浴 リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
水	口腔体操	嘱託医回診(毎週) リハビリ体操・口腔体操 運動レク 散髪(第2水曜日) 喫茶(第3水曜日)	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
木	入浴 口腔体操	入浴 リハビリ体操・口腔体操 運動レク	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
金	コープ共同購入 歯科衛生士口腔ケア 口腔体操	嘱託精神科医回診(隔週) リハビリ体操・口腔体操 クラブ	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
土	入浴 口腔体操	入浴 リハビリ体操・口腔体操	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備
日	ボランティア行事 体重測定(順次) 口腔体操	体重測定(順次) リハビリ体操・口腔体操 運動レク	リネン交換・居室清掃 入浴衣類準備 環境整備

4、月間定期行事予定

- 第2水曜日 散髪・カラオケクラブ
- 第1水曜日 ちぎり絵(偶数月)
- 第3水曜日 喫茶
- 第4日曜日 誕生会
- 第3、4土曜日 お楽しみ会
- 不定日曜日 買い物行事・ボランティア行事

平成 30 年度給食課事業（案）

基本方針

日々の衛生管理を徹底し、安心・安全を第一に考え、お一人おひとりに合った食事の提供を図り、元気に過ごしていただけるよう支援していく。又、施設生活において、食事は、楽しみの一つであり、満足していただける毎日の食事を基本に、行事食や食事レクレーションを実施し、楽しめる機会作りに努める。

平成 30 年の年頭方針「変革」に、給食課として、利用者様の意向を尊重し、気づき、前向きな支援ができるよう委託給食業者と協力しながら、実施していく。そして、他職種によるチームプレーで、利用者様の栄養改善、維持に努め、低栄養のリスクの軽減を図る。

昨年度から、宝塚・三田地域では、利用者様が、病院、施設間を移動した際でも、同じ内容の食事が提供できるように、栄養管理連携パスを開始し、栄養の情報共有を図っている。又、栄養士同士が、顔でつながる機会を設けており、相談しやすい関係を構築している。今年度も積極的に参加し、情報共有、自己啓発、知識の向上に努め、利用者様にとって、満足していただけるよう食を通して支援していく。

スローガン

食事時間が、笑顔のあふれる楽しいひと時に。

目標

- ・ 温度管理、衛生管理を徹底し、食中毒の予防に努める。
- ・ 季節感が味わえるように、旬の食材を取り入れた食事の提供に努める。
- ・ 早期に、低栄養のリスクに対応する為、食事摂取状況を観察し、他職種で、相談し合える雰囲気作りを心がけ、お一人おひとりに合った食事を提供し、施設での生活を長く送っていただけるよう支援する。
- ・ 摂取しやすい食事を提供する為、委託給食会社と検討、実施。
- ・ 栄養管理連携ファイルを作成し、病院・施設間の栄養情報の共有を図る。
- ・ 地域の栄養士とのつながりを大切にし、自己啓発、知識向上に努める。

管理栄養士 吉田 朋子

平成30年度 デイサービス 行事食予定表

月	日	行事名
4月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
5月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
6月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
7月	第3～4週	鍋を囲む会・アイスクリームパーティ
8月	第3～4週	鍋を囲む会・そうめんパーティ
9月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
10月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
11月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
12月	第3～4週	忘年会 鍋を囲む会・おやつレク
1月	第3～4週	鍋を囲む会・おやつレク
2月	第3～4週	鍋を囲む会・ぜんざいパーティ
3月	第3～4週	鍋を囲む会・豚汁パーティ

平成30年度 特養行事食予定一覧表

実施日	イベント名	実施内容
5月5日	子供の日	ちらし寿司、柏餅
7月7日	七夕	天ぷら盛り合わせ、冷やしそうめん
7月	夏祭り	たこ焼き、焼きそば、パンダ焼き等
9月	敬老祭	松茸御飯、天ぷら、茶碗蒸し等
9月23日	秋分の日	おはぎ
11月	鍋を囲む会	ちゃんこ鍋
12月25日	クリスマス会	チキンライス、ハンバーグ等
12月31日	大晦日	年越しそば
1月1日～3日	正月	おせち料理、雑煮、天ぷら、ちらし寿司等
1月～2月	バイキング	いなり、巻き寿司、惣菜等
2月3日	節分	散らし寿司、等
3月3日	雛祭り	散らし寿司、ひなあられ、甘酒、等
3月21日	春分の日	おはぎ
毎月1回	誕生日会	散らし寿司、ケーキ、コーヒー、紅茶
	毎月1日	赤飯
毎月第3水曜日	喫茶日	ケーキ、コーヒー、紅茶

※上記以外に、月に1回以上、食事レクリエーションを実施予定。

平成30年度 事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
特別養護老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ 医務室

基本方針

地域包括ケアの視点から「医療から介護」という観点が近年大切になってきている。認知症においては予備軍も含めて推定800万人といわれており、高齢者の医療においても問題解決志向モデルでは無く「生活」「いきがい」をアセスメントする生活モデルが大切である。施設看護師にとって大切な事は看護の視点を医療モデルだけでは無く生活モデルもイメージでき生活支援を中心とした観点から日々の健康管理を行うことである。

施設看護師には高齢者ケアの専門的知識と的確な判断力が必要であり日々の健康維持管理 尊厳を支え自立支援にむかって どのように対応するべきかを問い続け良質のケアを提供することが大切である。

利用者の訴えに傾聴し何を望み どうしたいのか 意識と見方を変えることによって生活の継続が可能な医療の提供をすることができる。

そのためには看護と介護の連携が大切であり 各職種間の専門性を理解 尊重し合い情報・目的・目標を共有することが重要である。

前年同様に「利用者の望む生活を支える看護」をスローガンとし各職種間と連携をはかりながら利用者の生活の質の向上につとめていく。

課題

1. 日々の健康管理・健康保持への援助
2. 業務文書の充実（各種業務手順、マニュアルの作成・改定）とともに効率よい業務運営を推進し、時間外勤務の縮小を図る。
3. 施設内外への研修参加・フィードバック
フィードバックが不十分であったため、医務室内においても研修報告の時間を短時間でも作るようにする。
4. 誤薬を中心とした医療事故防止
配薬準備のマニュアルを随時更新する。

スローガン

「利用者の望む生活を支える看護」

数値目標

誤薬ゼロ・医療事故ゼロを目指す

前年 誤薬 13件 落薬1件

- ・中長期的な計画として今後医療依存度の高い利用者の増加に伴い治療の目的が「治癒」では無く日常生活への「適応」であるケースが増加してくる。医療モデルではなく生活モデルの視点が大切 介護職員との連携が大切であり情報共有としてマニュアル等の見直しが必要。
- ・看護職員による介護職員に対する教育を定期的実施 今後増加してくる医療依存度の高い利用者の受け入れに対して 対応可能にしていくことが必要。
- ・入院者ならびに総入院日数の減少 昨今は高齢者の急性期的な状態変化による入院は減少も慢性的な疾患の増悪による長期入院のケースが多かった。日々の健康管理にて異常の早期発見につとめると共に 出来る限り施設で疾患に適応した生活が継続できるように援助していき 入院率の減少につとめる（直近3カ年 入院率 4.6%～5.6%）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
マニュアルの整備	マニュアルの整備	マニュアルの整備
現状の点検・見直しを実施 問題点・改善項目の抽出 優先すべき項目の選定 一次整備を実施	マニュアルの点検 感染対策実践訓練 介護職員等に対する医療知識の啓発 自己啓発の促進	マニュアルの更新・見直し 加算の取れる体制作り 介護職員等に対する医療知識の啓発 自己啓発の促進
医療研修	医療研修	医療研修
年3～4回実施	年4回の研修継続	年6回の研修継続
数値目標	数値目標	数値目標
入院率5%以下	入院率5%以下	入院率5%以下

17

平成 30 年度 通所介護事業所事業計画 ~~（案）~~

社会福祉法人 宝成会
宝塚シニアコミュニティ
通所介護事業所

基本方針

「レスパイトケア主体から変革し、運動機能回復による顧客満足度の向上」をスローガンとし、年度平均 17.5 名（利用率 70%）を目標に掲げる。送迎地域、時間に対し、柔軟に対応し、新規獲得は年度平均 1.5 名を目指す。当日欠席者を、現在の平均 12 名／1 ヶ月から、5 名／1 ヶ月へ減少を目指す。月 1 回以上の西谷地域、近隣地域の居宅支援事業所へ積極的な営業活動実施。節水、節電、残業削減等、各スタッフのコスト意識を徹底し支出を抑える。市やブロックの通所介護部会へ参加し情報収集と連携を深める。

課題

1) 利用率の増加

お客様、御家族様と日頃から密にコミュニケーションを取り、信頼関係を構築し、気軽に利用出来る様、希望に沿う柔軟な対応を徹底。近隣居宅CMへ小まめな情報提供（1 ヶ月 1 回以上の訪問、FAXの活用）による信頼関係の構築による体験利用者の確保。

2) スタッフのスキルアップ

職員は、「運動機能回復」のテーマに沿った外部研修へ 1 回以上/年参加を目標とし、知識、技術の向上を目指す。専門職として御客様、御家族様から信頼を得られる様、努力する。

3) 地域との交流

地域から積極的にボランティア受入、DSから地域サロン等への参加により交流を深め、地域福祉資源の中心的役割を目指す。

宝塚シニアコミュニティ通所介護事業所中期事業計画(案)

社会福祉法人 宝成会
宝塚シニアコミュニティ
通所介護事業所

年度	事業計画	目標利用率(年平均)	職員、パート	設備等
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 新規獲得平均1.8名/月を目標 運動機能加算算定準備 離職率0%継続 パートスタッフの補充、育成 地域福祉資源との連携継続 	<ul style="list-style-type: none"> 70% (25名定員) 目標：平均17.5名 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の積極的参加(1回/1ヶ月) 内部勉強会の開催(1回/3ヶ月) 他部所との異動 他部所との交換研修 各スタッフの資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> 浴室内リフレッシュ工事
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> 新規獲得平均1.8名/月を目標 運動機能加算算定 離職率0%継続 パートスタッフの補充、育成 地域福祉資源との連携継続 	<ul style="list-style-type: none"> 74% (25名定員) 目標：平均18.5名 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の積極的参加(1回/1ヶ月) 内部勉強会の開催(1回/3ヶ月) 他部所との異動 他部所との交換研修 各スタッフの資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> デイルーム床の張替え工事
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> 新規獲得平均2.0名/月を目標 運動機能加算算定 離職率0%継続 パートスタッフの補充、育成 地域福祉資源との連携継続 	<ul style="list-style-type: none"> 76% (25名定員) 目標：平均19名 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の積極的参加(1回/1ヶ月) 内部勉強会の開催(1回/3ヶ月) 他部所との異動 他部所との交換研修 各スタッフの資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> 食事運搬用保温車の導入

時刻	お客様のスケジュール	スタッフのスケジュール
8:30		職員、パート出勤 当日のキャンセル受付 (8:45まで) 受け入れ準備 スタッフミーティング
8:35	迎え出発 (9:20までに帰館)	送迎介助
9:20	到着次第バイタルチェック 随時、入浴開始	到着順にバイタルチェック (NS) お茶出し
9:40	朝の朝礼	スタッフの朝礼
9:50	入浴待機、入浴しない方については、話相手 VTR鑑賞、手芸、ゲートボール等を提供	入浴介助・処置 (NS) フロア待機者についてはコミュニケーション 水分補給・ドライヤー
11:45	トイレ誘導、おむつ交換	排泄介助
12:10	雑談会	昼食準備
12:15	昼食 うがい 休養・娯楽	食事介助 与薬・下膳 うがい コミュニケーション
	トイレ誘導、おむつ交換 ゲートボール、ベッド臥床、TV鑑賞 個別レクリエーション	排泄介助
14:00	デイルームでの水分補給	水分補給
14:15	日常生活動作訓練、パワーリハビリ (希望者)	運動指導、介助、希望者へのパワリハ提供
14:50	館内での歩行訓練	
15:15	トイレ誘導、おむつ交換	排泄介助
15:20	おやつ	おやつ準備
15:50	レクリエーション (選択)	レクリエーションの提供 NS、職員、ケース記入
16:30	水分補給 トイレ誘導、おむつ交換	お茶だし 排泄介助
16:45	体操	体操指導
16:50	送り出発	送迎介助
17:00		館内除菌・片付け・翌日準備 車両除菌 ケース記入
17:30		職員、パート業務終了

休憩時間

パート 1 (12:00~13:00)

パート 2 (13:00~14:00)

職員 1 (12:15~13:15)

職員 2 (13:15~14:15)

NS (13:00~14:00)

平成30年度 宝塚シニアコミュニティ通所介護事業所 年間行事計画表 (案)

	会議	行事	点検、衛生等	研修、訓練等
4月	通所介護会議 ケアカンファレンス	花見外出 屋外での生活動作訓練 誕生会	機器点検	全体会議 デイ会議
5月	通所介護会議 ケアカンファレンス	母の日 屋外での生活動作訓練 誕生会	害虫駆除	自主防災訓練 デイ会議 スタッフ研修
6月	通所介護会議 ケアカンファレンス	父の日 屋外での生活動作訓練 誕生会	冷暖房点検	デイ会議
7月	通所介護会議 ケアカンファレンス	七夕祭り 屋外での生活動作訓練 誕生会	受水槽点検	デイ会議 スタッフ研修
8月	通所介護会議 ケアカンファレンス	納涼会 屋外での生活動作訓練 誕生会	職員健康診断	デイ会議
9月	通所介護会議 ケアカンファレンス	敬老会 屋外での生活動作訓練 誕生会	ボイラー点検	デイ会議 スタッフ研修
10月	通所介護会議 ケアカンファレンス	運動会 屋外での生活動作訓練 誕生会	自動扉点検	自主防災訓練 デイ会議
11月	通所介護会議 ケアカンファレンス	文化祭 誕生会 屋外での生活動作訓練 紅葉外出	浄化槽、下水道 点検	デイ会議 スタッフ研修
12月	通所介護会議 ケアカンファレンス	忘年会 屋外での生活動作訓練 誕生会	大掃除 送迎車両冬支度	デイ会議
1月	通所介護会議 ケアカンファレンス	新年会 屋外での生活動作訓練 誕生会	機器点検	デイ会議 スタッフ研修
2月	通所介護会議 ケアカンファレンス	節分 屋外での生活動作訓練 誕生会	昇降装置点検	デイ会議
3月	通所介護会議 ケアカンファレンス	ひな祭り 屋外での生活動作訓練 誕生会	職員健康診断	デイ会議 スタッフ研修

H30 年度 訪問介護事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
宝塚シニアコミュニティ
訪問介護

・基本方針

お客様が培ってきた生活習慣や文化、価値観を尊重し生活基盤を整え生活の自立性の拡大を図り、生きることの喜び意味を見出し、自己実現を図り予防的な対処により生活の質を維持し、状態の変化を発見した場合は他職種へ繋ぎ、シニア全体の変革を目指し訪問介護としての役割を果たす。

・中期事業計画

・訪問介護事業所としての教育体制作りとスキルアップ
一人ひとりに合った研修プランを立てる。

- 1 職業倫理を持つこと、法令遵守すること
- 2 お客様のプライバシーを守る
- 3 相手を満足させる接遇

・目標の設定

2018 年

利用者だけでなく介護者に対しても、より良い介護方法の提供や相談を受け自立支援に向けたサービスを提供する。

2019 年

ケアプランに添った訪問介護計画書を作成・同意を得、利用者、利用者の家族にとって安心できるサービス提供を行う。

2020 年

利用者の生活再建に役立つ支援を行い、あきらめから可能性へつなげるサービスを行う。

・スローガン

利用者の尊厳を守り、常に利用者の立場に立ちながら仕事にあたり利用者世帯や地域住民から信頼される訪問介護を目指します。

平成 30 年度配食サービス事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
宝塚シニアコミュニティ
配食サービス

・基本理念

命をつなぐ「食」を手渡すことにより、元気な顔を拝見し、ふれあいを深め、お客様の思いや変化に気づき、関係機関に報告する。また栄養バランスの摂れたお弁当をお届けすることで、お客様が安全・安心・健康・明るく暮らせるように地域福祉に繋げていく。

・中期事業計画（案）

- 1) 安否確認の徹底
- 2) 個人情報取り扱いの徹底
- 3) 緊急時の対応の徹底

・目標の設定

2018 年

苦情 0 を目指し、お客様に満足頂けるサービスを提供する。

2019 年

報・連・相の周知徹底を図り、統一されたサービスを提供する。

2020 年

お客様の思いや変化に気づき、関係機関に連絡等を速やかに行う。

・スローガン

人と人との繋がりを共に支えあう心も満たす配食弁当

平成30年度 事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
特別養護老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ
訪問介護事業所 介護タクシー

□ 基本方針

一般乗用旅客自動車運送事業の業務の範囲内で、要介護者等の依頼に基づき、心身の状態、取り巻く環境、家族の希望等を勘案し、サービス計画書に基づき安全な移送業務の提供を行う。

- 1 要介護状態の利用者の能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう通院時の乗降介助等必要なサービスを提供する。
- 2 利用者の心身の状況、環境等を踏まえ、利用者の選択による円滑で安全なサービスが、適切に提供されるよう配慮する。
- 3 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、道路交通法を遵守し、ルールを守り安全で安心なサービス提供を行う。
- 4 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関等関係機関との連携を図り、総合的なサービス提供に努める。
- 5 「一般乗用旅客自動車運送事業許可書」の取り扱い方針を遵守する。

□ 主要事業

I 地域の在宅生活者（要支援・要介護者）の通院等の移送サービス

II 特養利用者様・短期入所生活介護利用者様の通院等の移送サービス

III 地域の在宅生活者（要支援・要介護者）の通院等の移送サービス

最優先で取り組まなければならないのは、「安心」「安全」な輸送です。定期的な安全運転講習、事故防止対策等に取り組んで行くことが必要です。

また、地域の公共交通が不足している為、地域のニーズを的確に捉え、地域の活性化に貢献していくことが必要となります。宝塚シニアの居宅介護支援事業所・他の在宅サービスでは、提供できない箇所を補っていかねばなりません。

IV 特養入所者等の通院等の移送サービス

医療的に必要な通院は、特養で実施しておりますが、お客様・家族様の要望による通院・リハビリ、又短期入所生活介護利用者様の通院等は、介護タクシーを利用して実施しております。

□ 売上げの推移と今後の目標

平成 29 年度は、前年度より若干売り上げが半減する見込みです。私の業務が多忙の為利用を制限しており、民間タクシー業者の利用が増加している為です。

平成 30 年度は特養の利用者様の定期的な送迎はこちらで行えるようにしていきます。

*平成 30 年度必要経費－車検代約 10 万円、車両保険約 4 万円、介護タクシーメーター検査料金 2,500 円、約 142,500 円。

平成 29 年度までの実績と今後の数値目標について

	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	平成 31 年 度	平成 32 年 度
運送 回数	40	35	26	30	30	30
輸送 人員	40	35	26	30	30	30
営業 収入	¥203,640	¥93,700	¥50,000	¥80,000	¥80,000	¥80,000

* 平成 29 年度 2・3 月分は推定で計算しています

* 平成 30 年度～平成 32 年度は目標数値です

以上

平成30年度事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
特別養護老人ホーム
宝塚シニアコミュニティ
居宅介護支援事業所

1、基本方針

介護支援専門員は、要介護者又は要支援者からの相談に応じる相談援助専門職として日々利用者様の心身の状況を見極め、介護サービスの調整をおこなっている。ゆえに相談援助技術と援助に関する専門的知識の研鑽に務めなければならない。30年介護保険制度改正にあたり、介護保険制度の利用が中重度の方を中心とし、その他軽度の方は地域総合事業へと転換されていく。我々介護支援専門員はご利用者様に不安を与えないよう制度理解と説明能力が求められる。様々な制度を学び、必要となれば提案し、利用者様ご家族様に安心感を持って日常が過ごしていただけるよう支援をおこなう。

2、スローガン

- ・アセスメント能力の向上
- ・介護保険制度とその他医療・福祉サービスに関する知識の向上

3、計画内容

- ①各市各地域の情報収集に勤める。
 - ・各包括支援センターへの定期的連絡と訪問をおこなう。
 - ・宝塚市・三田市・猪名川町の事業者協会事業に参加する。
 - ・事業所内会議の開催による（月1回）情報の共有。
- ②利用者個々のアセスメントをしっかりとおこない利用者に応じたケアプランを作成する。
 - ・ケアプランの作成に当たり、利用者の自宅を訪問し、利用者及びその家族と面談しアセスメントをおこなう。
 - ・サービス担当者会議を適切におこない事業者間の連携を図る。
 - ・毎月の自宅訪問を行い、評価をおこなう。
- ③法令を順守し、個人情報管理・利用は適切におこなう。
- ④医療機関との連携が重視。主治医、訪問看護事業所、入院医療機関、調剤薬局との連携を図り、入院時の情報提供がおこなえる様に努める。
- ⑤苦情ゼロの実現を目指す。
 - ・苦情に関しては、利用者・家族の立場に立ち、迅速、丁寧、的確に対応していく。
- ⑥介護支援専門員としての資質の向上に努め、各自積極的に研修に参加し、情

報・知識の習得に努める。

- ・研修 宝塚市介護保険事業者部会（年 3 回）
居宅介護支援事業者部会（年 6 回）
宝塚市、三田市、猪名川町の研修
 - ・情報 月間「ケアマネジャー」の購読
厚生労働省、兵庫県、日本介護支援専門員協会の HP からの情報、行政からの情報
 - ・調査員研修やイーラーニングにて介護認定調査員としての調査力強化
 - ・30 年度ケアマネ更新研修に 4 名全員（前期 2 名、後期 2 名）が対象年となっている。業務に差し支えないよう全員を終了させる。
- ⑦健全な事業所運営を行い事業所減算に該当しないようにする。
- ・月 1 回の訪問・モニタリングをおこなう。
 - ・出来るだけ詳細でわかりやすい記録をおこなう。
 - ・アセスメント・担当者会議に基づいた計画書を作成する。

4、利用者確保による数値目標の達成

H30 年度目標給付管理件数 117 件

- ・要支援給付管理件数 40 件
- ・要介護目標管理件数 77 件

平成30年度 居宅介護支援事業所予算に対する実績

I 利用者数の予想推移(介護度別)

登録状況		総合事業		要介護					合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	
4月	新規								
	継続	16	19	30	21	10	7	3	106
	合計	16	19	30	21	10	7	3	106
5月	新規	1	1	1					3
	継続	16	19	30	21	10	7	3	106
	合計	17	20	31	21	10	7	3	109
6月	新規	1	1		1				3
	継続	17	20	31	21	10	7	3	109
	合計	18	21	31	22	10	7	3	112
7月	新規			1					1
	継続	18	21	31	22	10	7	3	112
	合計	18	21	32	22	10	7	3	113
8月	新規		1		1				2
	継続	18	21	32	22	10	7	3	113
	合計	18	22	32	23	10	7	3	115
9月	新規					1			1
	継続	18	22	32	23	10	7	3	115
	合計	18	22	32	23	11	7	3	116
10月	新規			1					1
	継続	18	22	32	23	11	7	3	116
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
11月	新規								
	継続	18	22	33	23	11	7	3	117
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
12月	新規								
	継続	18	22	33	23	11	7	3	117
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
1月	新規								
	継続	18	22	33	23	11	7	3	117
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
2月	新規								
	継続	18	22	33	23	11	7	3	117
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
3月	新規								
	継続	18	22	33	23	11	7	3	117
	合計	18	22	33	23	11	7	3	117
合計	新規	2	3	9	2	1	0	0	17
	継続	211	254	383	268	126	84	36	1,362
	合計	213	257	284	266	127	84	36	1,378

平成 30 年度事業計画 ~~(案)~~

西谷地域包括支援センター

1. 基本方針

西谷地域の高齢者が、住み慣れた地域や家庭で、安心して尊厳のあるその人らしい生活を続けることが出来るように、支援できる仕組みをつくる。また、個別ケースの支援や住民からみた地域の福祉課題について、地域住民と専門職で協議ができる場をつくり、住民主体の地域生活を包括的に支援する体制を専門職(医療や介護等)、行政、社会福祉協議会等と連携しながら構築していく。

2. 目標

<スローガン>

「高齢者が1日でも永く、西谷地域に住み続けられる環境を整える」

3. 課題と取り組み

<課題>

高齢者の閉じこもりに関する相談が増えている。その中でも、参加したいと思う「活動の場」が見当たらないという意見が多かった。また、高齢者になっても住み慣れた地域で生活を継続するためには、通院や買い物等が不自由なくおこなえる地域にしていく必要がある。

<課題に対する取り組み>

西谷地域の高齢者が抱える問題を明らかにするためにアンケートや、ヒアリングを実施する。これまでの西谷地域包括に蓄積されたデータと、今回のアンケート結果を活用することで、西谷地域で今後取り組んでいくべき課題を抽出し、それらをまちづくり協議会等の話し合いの場に問題提議し解決への支援をしたい。

□2017 年度の見通し

- a. 宝塚市においても、介護予防・日常生活支援総合事業の体制が整備され、新たな介護予防事業の展開が始まる。西谷地域は、市街地と比べ利用できるサービスの種類・量ともに少なく、それらの整備を中心におこなう必要がある。そこで総合事業におけるサービスの拡充を実現するにあたり市との協働ができています。2017 年度の地域支援事業の構想においては、

2016年度とは大きな変更点は確認されてはいない。しかし以後、数年間に渡って、総合事業における多様なサービスの拡充が見込まれているため、その取り組みにおける基盤の整備をしていく必要がある。

□2018年度の見通し

- a. 新たな介護予防に対する取り組みや、考え方を市・地域住民・関係機関等が検討し合い、西谷地域に見合った仕組みを構築することができている。特に要支援者における既存の介護サービス（訪問・通所介護）に代わる事業が新たに整っている必要がある。具体的には、困りごとに関するアンケート等をもとに地域のニーズを把握し、既存の介護保険サービスと、インフォーマルサービスの隙間をうめるような住民主体の支援体制の構築がなされている。

以上

平成 30 年度事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ

基本方針

1. 施設サービス計画に基づいて、看護・医学的管理の下における介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上のお世話をを行うことにより、入所者の方の能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、居宅における生活への復帰を目指す。
また、要支援者が可能な限りその居宅において、その有する能力の維持・改善を図り自立した日常生活を営むことができるよう、看護、医学的管理下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことにより、療養生活の質の向上及び利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。
2. 入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立って介護保健施設サービスの提供に努める。
3. 明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い市町村・居宅介護支援事業者・他の保健施設その他の保健医療サービスの提供者と密接な連携に努める。

課 題

1. 職員教育を強化し、質の高いサービスを提供することにより選ばれる施設を目指す
2. 在宅復帰の促進(超在宅復帰強化型施設)
3. リハビリの充実により在宅復帰を促進(リハビリ職員・支援相談員増員)
4. 医療・保健・福祉の関係機関、地域との連携強化
5. 地域貢献(地域社会福祉法人連携による活動)
6. 地域の防災拠点となる(福祉避難所・一般避難所)

平成30年度入所事業計画詳細(案)

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ

基本方針

老人保健施設としての本来の姿を取り戻し
在宅への支援を今後とも行います。
各部署との連携を強化し多様化するケースに
対応できるよう質を高める。

課 題

- 1、 職員の質を高める為、部署独自の研修会を行い対応力や職員の質を高める。
医療との連携を図ると共に介護従事者も医療の知識を高める。
- 2、 法改正により超強化型算定ができるよう在宅への推進、支援をこれまで以上に
実施し老人保健施設としての役割や機能を担えるよう努める。
- 3、 地域住民や近隣市町村の方へ施設を知って頂くために近隣で行われる研修会などに
参加しネットワークを構築する。
- 4、 利用者様、ご家族共に支援の内容が多様化している為、窓口となる職員の技量を高め
市内はもとより他市町村からも紹介して頂けるよう努めます。
- 5、 地域包括ケアシステムの一端を担い地域の中での役割を達成できるよう技術を上げ
地域の方に安心かつ気軽に利用して頂けるよう接遇研修など行う。
- 6、 年々、重度化する入所者の方が生き甲斐を持ち、地域の中で尊厳を持ち続け
自己の思う生活ができるよう各事業所とも連携しその実現に努める。
- 7、 低離職率を維持すると共に御利用者、職員共に「生きる場所」になるよう努力し
楽しい時間を共有できるようレクリエーションなども行います。

平成 30 年度事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ
通所リハビリテーション

基本方針

1. 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って通所リハビリテーションサービスの提供に努める。
2. 事業の目的を達成するため、リハビリテーションを中心に明るく家庭的な雰囲気の中で、その有する能力に応じまた、能力の維持・改善を図り自立した日常生活を営むことができるようサービス提供を行い、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

課 題

1. 職員教育を強化し、質の高いサービスを提供することにより選ばれる施設を目指す
2. リハビリの充実により末永い在宅生活を支援(リハビリ職員増員)
3. 居宅サービス計画に沿った、計画作成とサービス提供
4. 居宅介護支援事業所・地域との連携強化
5. 地域貢献(地域社会福祉法人連携による活動)
6. 地域の防災拠点となる(福祉避難所・一般避難所)

平成30年度事業計画詳細(案)

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ
通所リハビリテーション

基本方針

☆自宅等の住み慣れた生活の場で、自分らしい生活を続けるために、質の高いケアを提供する
☆異なった専門的背景をもつ専門職が、共有した利用者の目標に向けて共に働くことで、身体的、精神的な自立を促し心と体の安らぎを提供する。

課題

- 1、 医学博士、理学療法士、作業療法士が一人一人の身体・精神状況に合わせたリハビリ計画書を作成し、最適なリハビリを提供します。
- 2、 QOL向上の支援を行う為、クラブ活動、施設外活動、余暇活動を充実させる。
- 3、 五感を刺激し脳の活性化やリラックス効果、精神的な自立心を向上させる為アロマセラピー・演奏会・ガーデニング・旬の食材 等を積極的に取り入れ提供します。
- 4、 各居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと相互協力し、利用者の環境・状態把握を行い、適切なケアを提供する事で、利用者・家族・事業所の信頼を高める。
- 5、 利用者・家族の様々なニーズに対応できる職員を育成する為、施設内・外の勉強会や研修に積極的に参加し能力向上を目指す。
- 6、 最先端技術導入に向けて模索を行い利用者のリスクマネジメントや新たな介護技術構築を目的に導入・検討を行う。

平成 30 年度事業計画 ~~(案)~~

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ
居宅介護支援事業所

基本方針

高齢者の居宅における日常生活を支援する事を目的とし、利用者・家族が自らの意思に基づき介護サービスの選択をできる様、説明を行い利用者・家族の希望を踏まえた介護サービス計画を作成し、利用者が安心をして適切なサービスを受けられるようにまた質の高い生活を過ごせるように支援する。

課 題

1. 質の高いサービスを提供し選ばれる事業所を目指す
2. 自立支援へ向けた、ポジティブな居宅サービス計画の作成
3. 定期的なアセスメントと継続性のあるモニタリング
4. サービス実施体制におけるマネジメントの情報提供と秘密保持
5. 地域の各関連事業所との連携
6. 老人保健施設からの在宅復帰者支援(末永い在宅生活を支援)
7. 地域貢献(地域社会福祉法人による活動)

平成30年度事業計画詳細(案)

社会福祉法人 宝成会
介護老人保健施設
加西シニアコミュニティ
居宅介護支援事業所

基本方針

高齢者の居宅における日常生活を支援することを目的とし、利用者や家族の希望に基づいたサービスが多様な事業者から選択できるように情報提供を実施します。

また、特定事業所加算を取り、24時間体制、ケアマネに対する計画的な研修と、見学実習生の受け入れを実施しケアマネの資質向上に努めます。

課題

- 1、 各病院の地域連携室、地域包括支援センターとの連携を図り、ひと月に2人以上の新規利用者の確保に努めます。老人保健施設併設の居宅介護支援事業所として、在宅復帰される利用者に対しても、密に連携を取る等自宅復帰時には安心してサービス利用が出来るように努めます。
- 2、 利用者個々の支援に従事し、特に入院時、退院時の医療と介護の連携を密にし、安心した在宅生活が送れるように努めます。
- 3、 定期的に訪問することで、利用者に変化が見られた場合は必要に応じて、速やかに担当者会議を開催し、計画の変更を検討するとともに各事業者との連携を図ります。
- 4、 利用者、家族との信頼関係を構築し、小さなことでも相談しやすい雰囲気作り
に努め、利用者、家族の意向を考慮し、実現可能な計画を作成することにより、本人の意欲を見出し、住み慣れた地域で自立した生活ができるように支援します。
- 5、 利用者宅を訪問する時は明確かつ簡潔に利用計画の進行状況の説明やご自宅での生活状況の把握(アセスメント)に努めるとともに、運営基準の順守のもと、個人情報の秘密保持に努めます。
- 6、 地域の関連事業所とは日頃より情報の共有を実施し、幅広く知識を得る努力をします。総会や研修会等、積極的に参加し、ケアマネの資質向上及び利用者様が自分らしい自立した生活が送れるように努力します。
- 7、 支援困難事例については一人で問題を抱え込まず、週に1回の事業所内会議で事例検討を行い、また地域包括、各事業所の相談員等と連携を図り、問題の解決に努めます。